

## 学校プールの集約化について

## ■学校水泳授業：令和4年度実証調査報告

## 1. 調査の概要

## (1) 令和4年度実証ポイント

令和4年度実証調査は以下①～③のポイントにより実施した。

## ①年間の全水泳授業カリキュラムでの実証調査

年間水泳授業の全回数未満での実施（以下「スポット実施」という）に加えて、全回数での実施（以下「モデル実施」という）を行う。

## ②プールオフシーズン(秋季)での実証調査

プールオフシーズン（秋季）での実証調査による学校行事や児童の体調等への影響について検証を行う。

## ③成績評価の方法確認

インストラクター指導における児童への成績評価方法について検討する。

## (2) 調査の方法

水泳授業期間において、複数の小中学校を対象に民間プールで授業を実施。また、学校プールでインストラクターを導入しての2校合同授業を実施し、授業内容や授業時間、移動時間等について検証した。

①実施期間：令和4年6月6日(月)～10月18日(火)

②実施プール・回数：(株)コパンススポーツクラブ田原店プール 48回  
若戸小プール(伊良湖岬小と合同) 18回 計66回

③実施した学校及び参加人数等

《コパンプールで実施(コパンプール + インストラクター)》

・モデル実施 (人)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	合計
田原東部小学校	36	39	48	51	53	49	276	408
泉小学校	20	17	17	24	29	25	132	

・スポット実施 (人)

学年	4年	合計
童浦小学校	61	61

《学校プールで実施(2校合同実施 + インストラクター)》 (人)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	合計
若戸小学校	13	16	14	15	14	11	83	215
伊良湖岬小学校	20	22	20	18	34	18	132	

④実施時間：1回/1時間（授業+休憩）で実施した。

⑤インストラクターの配置：児童生徒20人に対し1名を配置した。

⑥移動手段：東神観光バス(株)に委託しバス送迎を実施

大型バス（55人乗り） 47回

中型バス（45人乗り） 14回

マイクロバス（27人乗り） 13回

## 【全体のタイムスケジュール】



## 2. 調査結果

「学校プールのあり方検討に係る実証調査の進め方」に基づき、下表の該当する項目（網掛け部分）の内、学校教育に関する内容は教職員及び事業者へのヒアリングを実施した。ヒアリングによる各検証項目の調査結果について、田原市の学校プールのあり方等の検討を推進する庁内組織「田原市学校プールのあり方等検討会議」の中で、水泳教育、教員の負担軽減等の専門的事項を担当する「教育専門部会」にて評価を実施した。

	検証課題	検証項目	評価項目
I	水泳教育の一層の充実	①水泳授業の必要性や楽しさについて ②十分な水泳時間の確保について ③授業内容は十分か(教え方について) ④授業内容は十分か(泳力の確保について) ⑤移動時間の妥当性について	十分である 十分である 再検証・検討が必要である
II	衛生管理・安全管理の確実な確保	①プール施設の安全性について(プール設備) ②プール施設の安全性について(監視体制等) ③プール施設の安全性について(水質管理等) ④プール施設の安全性について(更衣室やその他施設)	
III	教員の負担軽減	①水泳授業の負担について ②移動を含め授業等全体への負担について ③プール施設管理の負担について ④成績評価の負担について	軽減された 再検証・検討が必要である 軽減された 軽減されなかった
IV	合理的なプール運営	①水泳授業の委託コストについて ②施設整備コストについて ③施設に係る維持管理コストについて ④移動コストについて	
V	その他	①田原市プール教育の展望について ②合同水泳授業の可能性について ③授業評価方法について	

### (1) 調査の結果及び評価

#### I 水泳教育の一層の充実に関すること

##### I-③ 授業内容は十分か(教え方について)

インストラクター指導は十分な授業内容であった 5校/5校

##### 評価

- ・インストラクター指導は授業内容として十分なものであったが、1回の授業を受ける児童数や使用レーン数等の細かな運用方法において調査検証が必要である。

##### 主な意見

- ・授業内容に問題はなかったが、児童に対して使用レーン数が少なく感じた。(学校)
- ・授業内容は十分なのであったが、泳力別のグループに偏りが生じてしまう。(学校)

##### I-④ 授業内容は十分か(泳力の確保について)

インストラクター指導による泳力の向上を感じた 5校/5校

##### 評価

- ・インストラクター指導は児童の泳力を向上させる点において効果的である。

##### 主な意見

- ・水泳が苦手な児童も授業に意欲的に取り組んでいた。(学校)
- ・児童自身も泳力の向上を実感し、達成感を得ている。(学校)
- ・インストラクターの指導方法は教員にとって参考になる。(学校)

### I-⑤ 移動時間の妥当性について

実測移動時間と想定所要時間との乖離及び想定外の事態があった学校 2校/5校

学校名	区分	出発時間（行き）	到着時間（行き）	所要時間 （分）	想定所要時間 （分）	備考	
		出発時間（帰り）	到着時間（帰り）				
田原東部小学校 ⇕ コパンスポーツ クラブ田原店	最短時間	10:16	10:23	7	4.4分		
		11:55	12:02	7			
	最長時間	10:20	10:30	10			7分 ～10分
		12:00	12:10	10			
童浦小学校 ⇕ コパンスポーツ クラブ田原店	最短時間	9:15	9:20	5	8.4分		
		10:55	11:05	10			
	最長時間	9:15	9:25	10			5分 ～10分
		10:55	11:05	10			
泉小学校 ⇕ コパンスポーツ クラブ田原店	最短時間	8:40	9:00	20	27.6分	大型バスの場合は学校通 用口、道路の幅により最 短経路が使えないため、 片道35分程要する。	
		10:20	10:45	25			
	最長時間	8:44	10:24	23			20分 ～28分
		9:07	10:52	28			
伊良湖岬小学校 ⇕ 若戸小学校	最短時間	9:25	9:35	10	12分		
		10:55	11:05	10			
	最長時間	10:40	10:55	15			10分 ～15分
		12:10	12:20	10			

#### 評価

- ・移動時間については道路の混雑状況や天候等に影響を受ける他、使用バスの大きさや学校への乗り入れ、道路形状等により経路が変わるため、想定と実測の時間に乖離が生じることがある。学校毎に移動時間の計測及び経路等の調査検討が必要である。
- ・片道 20 分を超えた際に 2 授業分の授業時間+放課時間内に収まらないため、朝会、他授業に影響が出てしまう。
- ・移動時間だけでなく、低学年児童の着替えに要する時間が想定時間を上回り、結果として他授業に影響が出てしまった。学年毎に想定所要時間の設定が必要である。

### III 教員の負担軽減

#### III-① 水泳授業の負担について

負担が軽減されたと感じた 5校/5校

#### 評価

- ・教材等の授業準備への負担軽減につながる。また、授業内容を考える面においても専門知識を有するインストラクターからの提案により負担軽減につながる。

#### 主な意見

- ・授業準備の面で大きく負担が軽減された。(学校)

#### III-② 移動を含め授業等全体への負担について

授業全体（移動、着替え、授業）等がスムーズに行えた 1校/3校

※コパンスポーツクラブ田原店実施校のみ

#### 評価

- ・授業だけでなく、移動や着替え等に人員が必要となるが、引率できる教員や学習指導員の人数に限りがあるため、授業以外の面においても効率的な運用方法の検討・検証が必要である。

#### 主な意見

- ・低学年児童の着替え補助後に教員が着替えるため、教員の着替え中に児童の管理が手薄となりロビーで児童が騒いでしまった。引率教員を増員するだけの教員数に余裕がない。(学校)
- ・引率に要する教員数は学年毎に異なる。引率に学習指導員を動員し問題なく行えた。しかし、学習指導員の数が減る場合は対応が難しくなる。(学校)
- ・体調不良につきロビーで見学する児童の付き添いに人員が割かれてしまう。(学校)
- ・児童の見学場所をプールサイドにすれば必要人員の削減が図れる。(事業者)

### Ⅲ-③ プール施設管理の負担について

#### 負担が軽減されたと感じた 2校/2校

※コパンスポーツクラブ田原店実施校（モデル実施）のみ

#### 評価

- ・プール水質管理（塩素濃度調整等）や施設管理（プール清掃等）等が不要となり、教員の負担軽減につながる。

#### 主な意見

- ・水質管理、プール維持管理面で大きく負担が軽減された（学校）
- ・プールシーズン前のプール清掃が不要となったため、負担が軽減された。（学校）

### Ⅲ-④ 成績評価の負担について

#### 負担が軽減されたと感じた 2校/2校

※コパンスポーツクラブ田原店実施校（モデル実施）のみ

#### 評価

- ・インストラクター指導により教員がプールサイドで児童監視を行う人員配置ができるようになるため、児童が授業を受ける様子や泳力確認に適した環境を作ることができるため、若干の負担軽減につながった。

#### 主な意見

- ・成績評価自体の負担は学校プール授業の場合と変わらないが、インストラクター指導により、教員1名がプールサイドでの児童監視を行うことができるため、児童が授業を受けている様子を見ることに注力できる。（学校）
- ・水泳授業の最終回で泳力チェックの場を設けた。児童の成績評価は教員が行うべきであり、技能部分の確認は教員のみで十分可能である。（学校）
- ・泳力等の技能部分での評価であれば協力できる。（事業者）

## V その他

#### ・秋季での実証調査により学校行事、児童等に影響はあったか 0校/2校

#### 評価

- ・児童が体調不良となった場合への対応はさらなる検討や実証が必要である。

- ・学校行事等への影響は実施日の調整により最小化されるため、問題はない。

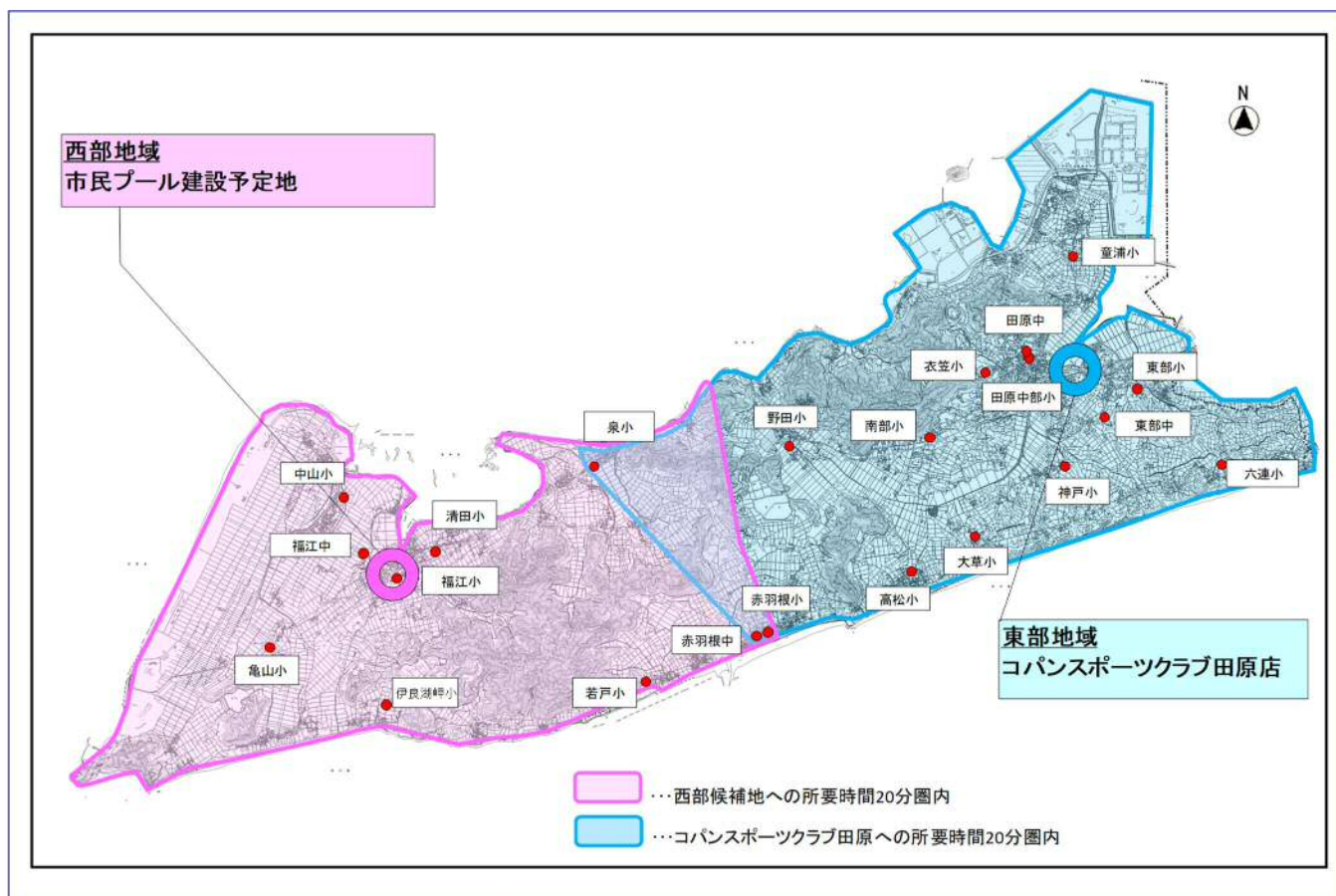
### 主な意見

- ・授業中に体調不良となり保護者の迎えが必要となるケースが発生しなかったため、対応はなかった。考えた対応策が実運用上問題ないか分からない。(学校)
- ・学校行事等に影響しないように実施時期を学校毎に定める(6~7月は●●学校、9~10月は○○学校)のではなく、期間中に実施日は均等に振り分けることで影響を抑えられる。(学校)

## ■施設整備：整備検討進捗報告

### 1. 整備検討内容

- ・整備施設：市民プール
- ・整備予定地
  - 所在：田原市福江町堂前3-1外(旧JA本店跡地) 別紙「位置図」
  - 面積：約6,900㎡
- ・施設機能：プール機能(50m、25m、幼児用)、マルチスタジオ、キッズスペース等
- ・整備手法：PFI、DBO等
- ・運営方法：PFI、指定管理者等
- ・利用想定校：10校(赤羽根小、若戸小、中山小、亀山小、福江小、清田小、泉小、伊良湖岬小、赤羽根中、福江中)



## 2. 整備スケジュール

大項目	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
構想	基本構想・基本計画	■					
調査	PFI導入可能性調査		■				
	用地測量、物件補償調査等		■				
用地	物件補償			■			
	借地					■	
業者選定	PFIアドバイザー業務			■			
	業者選定			■			
整備	設計・工事					■	
供用	供用開始						■

### ■ 総括

水泳授業については、令和4年度の実証実施において令和3年度同様のスポット実施に加えて、モデル実施を行った。民間プールにおけるインストラクター指導は水泳授業の教え方について高評価であり、児童の泳力向上につながった。また、授業や施設管理においても教員の負担軽減につながった。一方で水泳授業やバス送迎にかかる運用方法や引率教員不足等の課題が見つかった。プール集約化に向けてはまだまだ解決すべき課題が多く確認されたため、さらなる検証や検討が必要である。

施設整備については、想定施設や利用者数、敷地面積、各学校との距離等を検討した。あらゆる条件に適合し、福江市街地の活性化が図れるとして、市民プール建設予定地は旧J A本店跡地に選定した。今後、施設整備を進めるにあたって、施設機能や整備手法、運営方法等の調査検討が必要である。

令和5年度は、水泳授業は本年度で見つかった課題の解決に向けて検証・検討を行うだけでなく、大規模校である童浦小学校をモデル実施校に加え、午後の時間割における実証や冬季における実証等を行う。施設整備は予定地の用地測量や施設整備に必要な各種調査を行うとともに、事業の整備手法、運営方法等を検討するための調査を実施する。

コパンスポーツクラブ田原店 水泳授業の様子

